

事務事業マネージメントシート

作成日 令和2年 04月 22日

事務事業名	市民会館施設維持管理事業				担当	教育委員会 文化課 文化振興係									
政策名	B	学びと歴史・文化が豊かな心を育むまちづくり				増補版施策名									
施策名	6	文化芸術の振興				<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業									
関連個別計画						事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ								
法令根拠	真岡市民会館条例						<input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 昭和49年度～)								
予算科目	1.一般会計	10.教育費	4社会教育費	5市民会館費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(年度～ 年度)										
事業概要	<p>真岡市民の芸術文化の向上と福祉の増進をはかるため、市民会館を設置し、市民の芸術文化活動及び芸術鑑賞の拠点である。施設は市教育委員会が直接運営管理しており、清掃及び設備機器等の保守点検を民間の専門業者に委託し、点検結果を踏まえて修繕等を行っている。</p> <p>【委託項目】清掃、機械警備、建築物環境衛生、音響設備、照明設備、吊物装置、便所内防臭除菌器具、空調設備、非常用発電設備、消防・防火設備、ピアノ、映写機、高圧受変電設備、自家発設備、環境衛生管理。</p> <p>【手順】保守点検業務見積り徴収 契約 業務打ち合わせ 立会い 完了後支払いその他施設設備の巡回監視を行う。(清掃、機械警備及び消防設備についての業者選定は、企画課で一括して実施)</p> <p>令和2年4月より指定管理者制度が導入された。安全管理のため設備の定期的な保守点検業務は、指定管理者が実施する。</p>														

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段(主な活動) 31年度実績 安全管理上及び利用者に施設、設備を快適に使っていただくために必要な保守点検業務等を、専門性、効率性を考慮して民間の専門業者に委託した。	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)の推移						
	名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
ア 委託件数/金額(千円)	件/千円	17/21,807	16/21,610	17/22,096	16/23,618	0	
イ 修繕件数/金額(千円)	件/千円	7/487	5/328	8/634	7/1,031	0	
ウ 工事件数/金額(千円)	件/千円	1/3,240	1/281	1/260	0/0	0	
エ 器具購入件数/金額(千円)	件/千円	0/0	0/0	0/0	0/0	0	
オ							
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 市民会館の施設、設備 市民会館利用者(主催者、出演者、観客)	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)の推移						
	名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
ア 建物延べ床面積	平方m	4,850	4,850	4,850	4,850	4,850	
イ 利用回数/人数	回/千人	599/105,970	567/88,061	579/89,068	509/75,219	500/80,000	
ウ	円						
エ							
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 市民会館の施設、設備を常に良好な状態に保つ。 利用者に安全で快適な場を提供する。	⑦成果指標(対象における意図された対象の程度)の推移						
	名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
ア 専門業者等の点検に基づき施設を改善した件数	件	8	5	8	7	0	
イ							
ウ							
エ							
④結果(どんな結果(上位施策)に結びつけるのか) 常に施設を快適に利用できるよう維持管理し、市民に芸術鑑賞、文化活動の場として有効に活用していただき、市民の芸術文化の振興を図る。	⑧上位成果指標(結果の達成度を表す指標)の推移						
	名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
ア 快適に利用された回数(市民会館)	回	599	567	579	509	500	
イ							
ウ							
エ							
(2) 総事業費の推移	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)	
投 入 量	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	9,684	8,063	7,177	7,279	0
	一般財源	千円	33,743	33,396	35,299	36,872	0
	事業費計(A)	千円	43,427	41,459	42,476	44,151	0
人 件 費	正規職員従事人數	人	2	2	2	2	0
	延べ業務時間	時間	1,440	1,440	1,440	1,440	0
	人件費計(B)	千円	5,980	5,976	6,003	5,822	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	49,407	47,435	48,479	49,973	0
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等							
①この事務事業を開始したきっかけは何か? いつごろどんな経緯で開始されたのか?		昭和49年11月、市民会館の開館に伴い維持管理を開始した。 平成21年3月、二宮町との合併により二宮文化会館の維持管理を二宮町から引き継いだ。 平成26年4月、二宮文化会館(現生涯学習館)を生涯学習課に移管した。					
②事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?		平成23年3月の地震により、大ホールの客席天井の一部が崩落する等の大きな被害を受けた。 市民会館は新耐震基準が制定される以前の建物であるため、耐震補強を含めた再整備工事を、平成24年度・25年度の2カ年継続事業で実施し、平成26年3月に完了した。 令和2年4月より指定管理者制度が導入になり、管理を指定管理者が実施するようになった。					
③この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?		市民会館は外壁の塗装の変色がひどく、美観を損ねている。大ホール1階の床勾配が緩やかなため、舞台が見づらい。座席の幅が狭い。(市民から) 上記の意見、要望を取り入れ、再整備工事の中で、屋根、外壁の全面改修、大ホール1階客席の千鳥配置、座席の拡幅を実施した。					